



2月1日～2月15日の活動報告

●北陸産学技術交流会（情報交換） 「AI・データ分析を活用したマーケティング支援ソリューション」（主査：福井工業大学）

日時：2月1日(水) 12:00～14:00

場所：福井工業大学

参加者：20名（主査・北経連8名含む）

福井工業大学との共催で、上記テーマで情報交換を行う技術交流会を同大の福井キャンパスで開催し、会員企業・大学から12名が参加した。

主査のAI&IoTセンター長 芥子育雄氏から「自販機POSデータ分析のダブルハーベストループ構造の実現」「POSデータ分析による商品陳列とアバターロボットによる接客」の他、テーマに関連した研究を行っている研究者3名から研究内容の紹介があった。その後、参加者との質疑応答と意見交換を行った。

また、交流会終了後には、同大主催のAI&IoTコンソーシアム設立シンポジウム「AIの最前線～基盤モデル・深層学習・強化学習～」が開催された。

（担当：坂井・松木）



●会員懇談会（富山会場）

日時：2月2日(木) 14:30～17:30

会場：ANAクラウンプラザホテル富山(オンライン併催)

参加者：124名（来場74名、オンライン50名）

交流会63名

今年度の会員懇談会は「北陸近未来ビジョン」で掲げる「スマート・リージョン北陸の実現にむけて」を統一テーマとして、今回の富山会場では「デジタル・トランスフォーメーション」をテーマとして講演会を行った。

金井会長の挨拶の後、富山県立大学工学部情報システム工学科教、DX教育研究センター所長の唐山英明先生から「富山県立大学とデジタル化の推進」と題して、昨年4月に開所されたDX教育研究センターの概要や今後の産学連携への取り組み、現在開講中

であるDX人材育成のための社会人プログラム等の状況などを紹介していただいた。

続いて、キタムラ機械(株)代表取締役社長、工学博士・中部大学客員教授、日本機械学会フェローの北村彰浩氏からは「工作機械のDX」と題し、同社の工作機械のDXによる労働生産性の向上について、詳しくお話いただいた。

講演後、閉会挨拶において高木副会長は「お二方のお話は、当会の第5次アクションプランにもある『労働生産性の向上と成長』に向けたヒントがあったのではないかと。一方で、デジタル化をどうやって自社に組み入れて、本当の意味で生産性を上げていくかは、個々の企業がそれぞれに考えていく必要があるとの気持ちを一層強くした」とし、最後に「北陸新幹線の大阪延伸については、以前から強くお願いをしており、日本の国土強靱化に不可欠である」と述べた。

講演終了後には交流会が開催され、会員が交流を深めた。



（担当：渡辺）

●日本・タイ王国 第22回お互いフォーラム in 七尾

日時：2月2日(木) 13:30～17:30

会場：矢田郷地区コミュニティセンター
多目的ホール(オンライン併催)

参加者：320名（日本側120名、タイ側200名）

タイ王国公益法人お互いフォーラム（タイ工業省所管）は2011年以降、タイと日本各地を結び、ASEANへの海外展開を目指す企業・産業を支援している。

当会は北陸AJECが2016年2月12日に締結したタイ工業省との経済協力の覚書に基づき、タイを中心としたASEAN地域のインバウンドの誘客、能登半島産物産品の販路開拓、並びにタイ主要政策であるBCG技術の活用を支援するべく、第22回フォーラム国際会議を同フォーラムと共催で開催した。

本国際会議では、茶谷七尾市長とタイ工業省間で、更には金沢大学産学融合研究会と金沢工業大学他関係団体間で石川県の繊維産業とタイの天然素材の技術開発等に関し各々覚書が締結された。本国際会議に先立ち、1月13日に国内23番目の自治体として馳石川県知事と経済連携の覚書も締結された。

当会会員企業関連では金沢工業大学革新複合材料センターの取り組み、(株)スギヨと金沢大学との連携事業・同社商品の試食会の模様、会宝産業(株)の使用済自動車の漁礁プロジェクト、七尾商工会議所/金沢大学が推進する能登の地域通貨 SATO (サト) 他がタイ王国関係者にリアル発信された。

両国がコロナ禍から回復を目指す中、持続可能な商品・サービス開発を推進する、共創型販路開拓の方向性が確認され、タイと北陸地域間の産官学間での経済連携体制がさらに強化された大変有意義な国際会議であった。



(担当：小島・高道)

●第9回中部社研時事フォーラム 「折り返し点を迎えたSDGs～変革を力に変えるための方策～」

日時：2月9日(木) 13:30-16:10

会場：ホテル日航金沢(オンライン併催)

参加者：117名(会場17名、オンライン100名)

(公財)中部圏社会経済研究所との共催で、SDGsをテーマとしたセミナーを開催した。

まず、中部圏社会経済研究所の丹羽代表理事からの挨拶の後、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授の蟹江憲史氏より「折り返し点を迎えたSDGs～変革を力に変えるための方策～」と題し基調講演をいただいた。蟹江氏からは「SDGs達成に向けて変革が必要な領域は、ビジネスチャンスの領域である」「SDGsの本質は、サステナビリティの追及を通じた経済成長戦略である」等のお話があった。



続いて、前田建設工業(株)の河原博之氏から「新築と改修のW ZEB(ダブルゼブ)」、(独)中小企業基盤整備機構北陸本部の松浦浩規氏から「中小企業のためのSDGs経営導入のポイント」、国際連合地域開発センターの浦上奈々氏から「ローカルSDGsの取り組みの可視化と情報発信」をテーマに、各社・団体の取組事例を紹介いただいた。

(担当：小林)

●北陸産学技術交流会(情報交換) 「ワイヤレス給電技術の適用・応用分野」 (主査：北陸電機製造(株))

日時：2月10日(金) 13:30-15:00

場所：オンライン開催

参加者：9名(主査・北経連4名含む)

北陸電機製造(株)との共催で、上記テーマで情報交換を行う技術交流会をオンライン開催し、会員企業・大学から5名が参加した。

主査の北陸電機製造(株)からの開催趣旨の説明後、企業紹介、テーマに関連した自社の取組みについて紹介があった。

その後、企業の参加者から企業紹介および本交流会の参加動機や関連情報の紹介、大学から参加した研究者からはテーマに関連した研究内容の情報提供があった。それぞれの紹介内容について質疑応答と意見交換を行った。



(担当：坂井・松木)

●北陸環境共生会議勉強会「地球温暖化防止に向けた国内の取組みについて」

日時：2月13日(月) 13:30-16:20

会場：ホテル金沢(オンライン併催)

参加者：80名(会場24名、オンライン56名)

北陸環境共生会議は、地球温暖化防止に係る勉強会を開催した。最初に、J-クレジット制度事務局加藤史浩氏より、省エネ・再エネ設備の導入や森林管理等で温室効果ガスの排出削減・吸収量をクレジットとして認証する「J-クレジット制度」について、参加方法や注意事項等を説明いただいた。

後半は、(一社)地球温暖化防止ネット平田裕之氏より、昨年11月にエジプトで開催されたCOP27(国連気候変動枠組み条約第27回締約国会議)の様子を紹介いただきながら、温室効果ガス削減活動の潮流や、企業の取り組み事例についてお話しいた

北陸環境共生会議構成：富山県・石川県・福井県・
北経連、協力：北陸電力（株）



(担当：森岡)

◆新春経済懇談会（1月25日）特別講演での 質疑応答に関するお知らせ

1月25日(水)開催の新春経済懇談会において、日本銀行の吉濱金沢支店長に「最近の金融経済情勢について」と題して講演いただいた際、システムトラブルの影響で、三井物産（株）神崎北陸支社長からオンラインでお受けした質問を確認できませんでした。

後日、吉濱支店長から質問に対する回答をいただきましたのでお知らせします。

【三井物産（株）神崎北陸支社長からの質問】

・講演資料 P.36にある「地域としての取り組み」ですが、①間接部門の共同化・集約化、②北陸域内の連携強化について、実際にトライしたことがあります。現実的にはなかなか難しいというのが率直な感想です。是非参考としたい、他地域での成功例を教えてください。

【日本銀行 吉濱金沢支店長からの回答】

・講演資料に記載しました ①間接部門の共同化・集約化、②北陸域内の連携強化の2点については、少子高齢化・人口減少に直面する地域経済の喫緊の課題である割には、取り組みが十分に進んでこなかったという印象を（他地域での支店長経験も踏まえて）持っており、であるが故に、取り組みを促す趣旨で記載しております。

・ただし、近年は、北陸も含めて地域金融機関が地域のデジタル化を進めるため、自行のインターネットバンキングなどのインフラを広く提供することで取引先企業の間接事務の効率化を促す取り組みが進んでおり、これは①に該当するものと思います。

・また、資料32ページでご紹介した会津ICTビルでの取り組みは、新技術と県外企業の力を取り入れながら、多数の中小企業を対象にシェアドサービスを導入する等し、バーチャル大企業として高度化した点は、効果的な取り組みであろうかと思えます。

・この他、2022年12月9日公表のさくらレポート別冊で紹介した事例をみると、間接部門以外の共同化・連携も含めると（仕掛中のものもあります）が、

「生産設備の自動化・省力化に向けて、同業他社と共同でAIの活用に取り組んでいる。具体的には、画像判定技術を用いた検査工程効率化、振動データをAIに学習させることで生産設備故障・不具合の早期発見につなげるもの。」

〔輸送用機械、広島〕

「同業他社と連携し輸送ルートの相互利用や地方部における共同配送、施設・拠点の相互利用等に取り組んでいる。」〔運輸、名古屋〕

「当社の厨房を「ゴーストキッチン」として、提携した他の宿泊施設に対し料理を提供することを検討中。当社では手数料収入が期待されるほか、提携先でも板前を雇うコストが圧縮されるため、WIN-WINの効果が見込まれる。」

〔宿泊、大分〕

といった事例や、複数企業の販路開拓の一定の作業を金融機関が受け持つかたちとした、以下のような事例もあります。

「取引先の輸出先開拓支援のため、商品設計や商談会開催等の支援を継続している。欧州での商談会では、事前に得た現地企業のアドバイスを基にアレンジを加えるなどした結果、海外販路確保の芽が出始めた参加企業もみられる。」

〔金融機関、京都〕

(担当：鳥山)

今後の行事予定

◆働く女性の活躍推進セミナー

「両立は大変だから」のホントのところを考える

日時：2月17日(金) 13:30-15:00

場所：ANAクラウンプラザホテル金沢（オンライン併催・後日録画配信あり）

対象：どなたでもご参加いただけます(申込〆切済)

内容：

講演「働く女性の『敵』は何か」

中野円佳氏 ジャーナリスト

パネルディスカッション

中野円佳氏



佐藤恭子氏 (株)北國フィナンシャルホールディングス人材開発部マネージャー
多比良幸一氏 フクビ化学工業(株)執行役員
経営戦略本部副本部長

共催：北陸イメージアップ推進会議
後援：(一社)富山県経営者協会、(一社)石川県経営者協会、福井県経営者協会

詳細：
<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/1662.html>
(担当：日野)

◆第13回北陸地域政策研究フォーラムシンポジウム

日時：2月19日(日) 15:00-17:30
場所：石川県文教会館 401 会議室
(オンライン併催、後日録画配信あり)
対象：全会員に案内済
テーマ：北陸観光の未来ーポスト・コロナ時代に向けて
プログラム：

15:00-15:10	北陸未来共創フォーラム観光分科会について 堤敦朗氏(金沢大学人間社会研究域附属先端観光科学研究センター 副センター長)
15:10-15:35	報告①「ダークツーリズムを援用した「学ぶ観光」創出の試み」 鈴木晃志郎氏(富山大学人文学部人文学科准教授)
15:35-16:00	報告②「インバウンド施策と持続可能な観光について」 池田千恵子氏(大阪成蹊大学経営学部准教授)
16:00-16:25	報告③「観光の外部性と地域経済の生産性を考える」 佐無田光氏(金沢大学融合科学系教授 融合学域観光デザイン学類長 学長補佐(社会共創推進担当))
16:40-17:30	ディスカッション コーディネーター 北島啓嗣氏(福井県立大学副学長(地域連携)) コメンテーター 敷田麻実氏(北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 教授)

(担当：小林)

◆2022年度第3回人財活躍推進委員会

日時：3月23日(木) 12:00-14:00

場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)
対象：委員に案内済
(担当：落合・日野)

◆2022年度第3回国際委員会

日時：3月24日(金) 15:00-16:20
場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)
対象：委員に案内予定
(担当：小島・高道)

◆2022年度第3回海外現地情勢報告セミナー～中国・ASEAN～

サプライチェーン再構築の背景、生産拠点移転先としてのASEAN諸国の可能性、並びに今後の見通しに関するメディアならではの視座を取り入れた最新情報を日本経済新聞社国際報道センターから発信頂きます。

日時：3月24日(金) 16:30-17:30(日本時間)
会場：金沢ニューグランドホテル4階「金扇」
形式：オンライン併催(Microsoft Teams使用)

※本セミナー開催前に北経連の第3回国際委員会が開催されます。当委員会に会場にてご出席される委員のみ、引き続き同会場にて本セミナーにご参加いただきます。

内容：
「サプライチェーン途絶リスクと向き合う背景と今後の見通し」(仮)

日本経済新聞社 国際報道センター記者
岩本健太郎氏

申込：3月17日(金)までに下のURLから申込み
<https://forms.office.com/r/U6dU3mWQgN>

※複数名の参加可能です。参加者毎にお申込みください。

詳細：
<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/1670.html>

問合せ：北陸AJEC 小島・高道
TEL:076-231-5525 Email:ajec@hokkeiren.gr.jp
(担当：小島・高道)

◆2022年度第3回新たな価値創出委員会

日時：3月28日(火) 12:20-15:00
場所：ANAクラウンプラザホテル金沢(オンライン併催)
対象：委員に案内済
(担当：坂井・松木)

◆新たな価値創出オンライン講演会

「スマート・リージョン北陸」の実現に向け地元大学と経済界が更に連携を強化し、産学官連携による新たな価値創出等に取り組んでいます。福井大学の



上田学長を講師に迎え講演会を開催します。

日時：3月28日(火) 14:00-15:00

形式：オンライン開催 (Teamsライブイベント配信)

講演：「福井大学の産学官金連携活動と展望～地域特性と連携力を活かして～」

福井大学学長 上田孝典 氏

要旨：3年に及ぶコロナ禍の中、本学産学官連携本部(2007年設立)を拠点とする世界、地域のステークホルダーとの様々な連携の取り組みは着実に進展をみている。本学の2大ビジョン「世界に通じる地方総合大学」、「社会から頼りにされる活力ある大学」として、卓越した高度専門職業人を輩出し地域共創を推進する為の我々のチャレンジにつき、北陸の皆様にお示しさせて頂きたい。

対象：全会員(※本講演会は北経連会員以外の方もご参加頂けます)

詳細：

<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/88e2e3e62c36de8175aa47e5b9ef2a6d.pdf>

申込：3月17日(金)までに下のURLから申込

<https://forms.office.com/r/R7CCdXUDZX>

(担当：坂井・松木)

◆2022年度 第3回観光委員会

日時：4月19日(水) 12:20-14:30

場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)

対象：委員に案内予定

(担当：高島・日野)

◆2022年度 第3回総合対策委員会

日時：4月21日(金) 12:20-14:00

場所：ホテル日航金沢(オンライン併催)

対象：委員に案内予定

(担当：小林)

お知らせ

■総務省北陸総合通信局からのお知らせ

「『ビジネス』を護るサイバーセキュリティデイズ2023」

サイバーセキュリティに関するスキルと意識の向上を目的として、企業・組織に所属するすべての方を対象に、①実践的な演習と②最新のサイバー攻撃を解説するセミナーを開催します。

【募集チラシ】

https://www.soumu.go.jp/main_content/000857706.pdf

【主催】総務省北陸総合通信局、経済産業省中部経済

産業局、北経連 他

【詳細】

https://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/pres/s/2023/pre230124_01.html

①Practice Day (実践的演習：Micro Hardening)

【日時】3月2日(木) 13:00-18:00

【会場】金沢商工会議所

【内容】電子商取引サイトに対する様々なサイバー攻撃に対処することで能力の向上を図る演習

【定員】30名(先着順)

【申込】2月22日(水)までに下のメールアドレスに必要事項を記載して申込み

hokuriku-jigyo@soumu.go.jp

【問合せ】国立研究開発法人情報通信研究機構

北陸StarBED技術センター TEL:0761-51-8118

②Seminar Day (サイバーセキュリティセミナー)

【日時】3月3日(金)13:30-17:00

【会場】金沢商工会議所

【内容】

(第一部 講演)

- ・北陸先端科学技術大学院大学教授 内閣サイバーセキュリティセンター参与 篠田陽一 氏
- ・(株)FFRI セキュリティ部 セキュリティサービス部長 中西克彦 氏
- ・EY ストラテジー・アントム・コンサルティング(株)セキュリティパートナー 森島直人 氏
- ・(株)川口設計 代表取締役 川口洋 氏

(第二部 本音で語るサイバーセキュリティ)

参加者の個別のお悩み・ご意見について、講師が分かり易く解説します。

【定員】70名(先着順)

【申込】2月22日(水)までに下のURLから申込

<https://forms.gle/zArWQDvBU6SofWnt5>

【問合せ】総務省北陸総合通信局情報通信部

電気通信事業課 TEL:076-233-4422

(担当：坂井)

■ふくい産業支援センターからのお知らせ

ふくいベンチャー創出セミナー

「注目企業が目指す成長のカタチとは」

それぞれの立場でチャレンジしている5名を講師・パネラーに招き、ふくいベンチャー創出セミナーを開催いたします。

【日時】3月16日(木) 15:00-17:00

【会場】福井県産業情報センター1階マルチホール (坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16) オンライン併催

【対象】企業経営者・個人事業主、新規事業担当者、金融機関担当者、自治体・支援機関関係者

【主催】(公財)ふくい産業支援センター



【定員】会場 30名、オンライン 100名

【申込】3月13日(月)正午までに下のURLから申込
<https://forms.gle/pUcvWzcxnwbqBzj9>

【詳細】<https://www.s-project.biz/seminar/2023-3-16>

【問合せ】

(公財)ふくい産業支援センター 新産業支援部ベンチャー・Eビジネス支援グループ(担当:岡田)

TEL:0776-67-7411 Email:venture@fisc.jp

(担当:小島・高道)

■JETRO からのお知らせ

J-Bridge インドスタートアップショーケース—建設テック編—

JETROでは「日印ファンドオブファンズ」で出資を受ける現地有力VCが厳選したインドスタートアップ190社以上のポートフォリオの中から、特に日本企業との協業意思の強い企業を選定したピッチイベントシリーズを開催します。

今回はインド発のコンストラクション(建設)テック領域の関連技術やサービスにフォーカスし、有望スタートアップ企業が事業概要や日本企業への期待等について発表します。

【日時】2月20日(月)13:30-14:30(日本時間)

【形式】オンライン(Zoom)

【主催】JETRO、Reliance Nippon Life Asset Management

【定員】500名(先着順)

【言語】英語

【申込】2月19日(日)23時59分まで。詳細・申込は、下のURLよりご確認ください。

<https://www.jetro.go.jp/events/ind/8dfab004e61e641c.html>

【問合せ】ジェトロニューデリー事務所

担当:大瀧、酒井

Email:IND-info@jetro.go.jp

(担当:小島・高道)

■関西経済連合会からのお知らせ

アジア・ビジネス創出プラットフォーム(ABCプラットフォーム) 第2回 全体会議のご案内

関経連は、アジアと関西の経済のさらなる発展に向け、アジア各国の関係機関と連携し、国境を越えたビジネス創出を具体化・加速するため、「アジア・ビジネス創出プラットフォーム(ABCプラットフォーム)」を設立しました。このたび、各国関係機関と進捗状況を共有し、皆様の参画意識を高めることを目的として、「アジア・ビジネス創出プラットフォーム 第2回全体会議」を下記のとおり開催いたします。

本会議では、ビジネス創出の具体化として「事業実現支援プログラム」の参加企業によるプレゼンテーションを行うとともに、各国関係機関代表によるABCプラットフォーム事業についての意見交換を行います。

国内外の多くの機関・企業の皆さまにおかれましても、ABCプラットフォームをご活用いただきたく、本会議へのご参加をお待ちしております。

【日時】3月16日(木)全体会議 13:00-18:40

レセプション 19:00- (シンガポール時間)

【会場】Singapore Manufacturing Federation (SMF) (SMF Building, 2985 Jalan Bukit Merah, Singapore 159457) オンライン併催

【主催】Singapore Manufacturing Federation (SMF)、(公社)関西経済連合会

【申込】2月24日(金)までに下のURLより申込み

<https://forms.office.com/r/by9ig6twVx>

【詳細】

<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/1684.html>

【問合せ】関西経済連合会 国際部 佐田国、村上、中西、南 TEL:06-6441-0104

Email:abcplatform@kankeiren.or.jp

(担当:小島・高道)

以上